

第3回佐賀県・市町行政調整会議概要

- 1 日時：平成23年7月26日(火) 13時～14時40分
- 2 場所：マリトピア 吉祥
- 3 出席者：市長会【横尾多久市長（会長）、坂井唐津市長（副会長）、秀島佐賀市長（役員）】
町村会【田中江北町長（会長）、末安みやき町長（副会長）、武村大町町長（役員）】
県【古川知事、坂井副知事、牟田副知事、石橋統括本部長（意見交換）、平子健康福祉本部長（協議事項2）、白井国際戦略統括監（協議事項3）、井山県土づくり本部長（協議事項4、意見交換）、黒岩経営支援本部長（協議事項1、意見交換）】

4 会議概要

(1) 開会

(2) 座長選任 古川知事を座長に選任

(3) 議事結果

○協議事項1 基礎自治体への法令による一層の権限移譲について（市長会提出）

- ・市長会から、第2次一括法で市町に事務が移譲されるため、県から市町への事務引き継ぎや市町職員への研修など県と市町の連携が重要となる旨の提案がなされた。
- ・県側からは、今回移譲される事務の中には事務処理特例条例により移譲済みのもの、ほとんど処理件数のないものも多く含まれている。県としても市町への事務引き継ぎ、研修会の実施、市町での事務の共同処理の検討など市町をバックアップしていく旨を回答した。

○協議事項2 子どもの医療費助成の充実について（県提出）

- ・県から、3歳以上、就学前の子どもの医療費助成について、窓口全額支払還付方式から窓口定額一部払方式への見直しに向けて協議を行いたい旨の提案がなされた。
- ・市長会及び町村会からは、以前から県への要望をしており、かつて県からさらなる助成に取り組みたいとの話もあったが、まだ実施に至っておらず、引き続き検討してほしいとの意見が出された。
- ・新しい方式に変更すると財政的な負担が増すため、財源確保が課題。保護者にとって分かりやすい制度とする趣旨からも、入院だけでなく通院についても対象にしてほしい、実施時期については年度途中でなく、年度始めからにしてほしい等の意見が出された。
- ・これらの課題については、別会議で具体的に協議していくこととな

った。

○協議事項3 職員のグローバル人材育成と韓国全羅南道との交流促進について（県提出）

- ・ 県から、県が設置する瀋陽や香港の海外事務所での市町職員の派遣研修及び韓国全羅南道への交流促進のための訪問などの提案がなされた。
- ・ この提案について、市長会及び町村会から、韓国全羅南道への訪問を2月とする理由や、県が友好関係を結んでいる中国、韓国それぞれの都市を選定した経緯等について質問があった。
- ・ 県から、今後は市町においても国際感覚や体験を備えた職員の育成が重要となる。市町職員を県の海外事務所に派遣したい場合は、早めに相談してほしい旨を依頼した。

○協議事項4 住宅リフォーム緊急助成事業について（県提出）

- ・ 県から、住宅の安心安全の確保や質の向上、また地域経済の活性化などを目的に住宅リフォーム助成事業を実施することとしている旨の提案がなされた。
- ・ 市長会及び町村会からは、この事業は3年間限定の事業であるため、不公平感が出ないように下水道事業についてはトイレの整備も含めて対象外とすべき、住民に対する事業の周知期間をもう少し長く

とった方がよかった等の意見が出された。

- ・また、事務处理的にも簡素化して実施するには、申請受付は市町の窓口で対応し、交付は県から一括して申請者へ行う方法もあるので検討すべきとの意見も出された。（介護保険関係はそうしている。）
- ・今回の意見や、今後現場から寄せられる意見を踏まえたうえで、引き続き制度設計を行っていくこととした。

○意見交換 地域自主戦略交付金について（町村会提出）

- ・町村会から地域自主戦略交付金に対する県の評価等を伺いたい旨の提案がなされた。また、今年度、防火水槽に係る交付金が削減されたことについては、地域自主戦略交付金と関連があるのかについて質問された。
- ・県からは、今年度の地域自主戦略交付金の状況と評価等について説明を行うとともに、防火水槽に係る交付金の削減と地域自主戦略交付金は直接関連がない旨の説明を行った。

(4)閉会

※速報のため事後修正の可能性があります。なお、議事録については後日公表の予定です。